

科目名	メディカル・ヒューマニティーズ	授業形態	
英語科目名	メディカル・ヒューマニティーズ	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	澤井 直	ナンバリング	
担当教員	澤井 直、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>ヒューマニティーズは人間の文化や社会の諸相を扱う学問領域であり、人文学（哲学、倫理学、歴史学、宗教学etc.）や社会科学（心理学、社会学、人類学etc.）、芸術学（文学、視覚芸術、演劇、映画etc.）の分野を含む。「メディカル・ヒューマニティーズ」科目では、医学・医療をヒューマニティーズの観点から捉え、医学・医療と人間の関わりについて考える。講義では講義受講・ディスカッション・ミニレポートを通じて学ぶ。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]          メディカル・ヒューマニティーズという視点があることを知る          将来にわたり幅広い観点から患者・医療を見ていくことの出発点とする</p> <p>[到達目標]          1. ヒューマニティーズの分析・思考法の特徴を説明できる          2. 医学・医療にヒューマニティーズの分析法を適用した事例を紹介できる          3. ヒューマニティーズの分析法を自分で医学・医療に関わる事柄に適用して分析できる</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	高校の社会科学科目はどの科目を選択していても分かる内容ですが、歴史、倫理、文学などの人文学に関心を持つ方が履修してください。
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	成績評価方法： 授業点（50%）と最終レポート（50%）を総合して評価する
------	--

評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業点は出席・平常の課題・ミニレポートで評価する</li> <li>2. 積極的な質問・発言は授業点に加算</li> <li>3. レポート試験は総合的な理解度を評価する</li> </ol>
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

課題（小テストやミニレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。
---

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

講義中随時指示、配布する
--------------

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	担当：澤井直 E-mail: tsawai@juntendo.ac.jp [オフィスアワー] 日時：前期期間中の火曜日12:20から13:30 場所：センチュリータワー14階北 できるだけ来室前にE-mailで予約してください。事前予約があれば上記日時以外も対応できます。			
担当教員の実務経験				
備考	☆ 医療や医学はもちろん、芸術作品やスポーツ、経済活動を含め、一流の仕事にできるだけたくさん触れる。 ☆ 医学・医療に関わらず、さまざまな書籍等の情報から、多様な人間社会に触れ、理解を深める。 ☆ 授業内で課された課題に真摯に取り組む。 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分			
4/13 水 2限	澤井 直	【授業タイトル】はじめに：ヒューマニティーズとは 【サブ・タイトル】ヒューマニティーズ概要説明 【キーワード】ヒューマニティーズ、人文主義 【到達目標】「ヒューマニティーズ」に含まれる分野について説明できる  【授業タイトル】はじめに：メディカル・ヒューマニティーズとは 【サブ・タイトル】メディカル・ヒューマニティーズ概要説明 【キーワード】ヒューマニティーズ、人文主義 【到達目標】「メディカル・ヒューマニティーズ」が扱う問題を説明できる	講義	復)「ヒューマニティーズ」と「ヒューマニズム」の違いについて考える
4/20 水 2限	澤井 直	【授業タイトル】歴史：感染症の歴史(1) 【サブ・タイトル】ヒポクラテスによる流行病の記録 【キーワード】ヒポクラテス、『流行病』、症例記録 【到達目】古代ギリシアの医学について説明できる  【授業タイトル】歴史：感染症の歴史(2) 【サブ・タイトル】アテネの疫病 【キーワード】トゥキュディデス、ペロポネソス戦争 【到達目標】感染症がギリシア文化に与えた影響について説明できる	講義	復) 医師が残す記録の意義について考える 復) 非医師が残す記録の意義について考える

<p>4/27 水 2限</p>	<p>澤井 直</p>	<p>【授業タイトル】 歴史：感染症の歴史(3) 【サブ・タイトル】 アントニヌスの疫病 【キーワード】 ガレノス、マルクス・アウレリウス 【到達目標】 2世紀ローマの医療について説明できる</p> <p>【授業タイトル】 歴史：感染症の歴史(4) 【サブ・タイトル】 藤原四兄弟の死 【キーワード】 藤原四兄弟、天然痘 【到達目標】 7世紀の日本の感染症流行について説明できる</p>	<p>講義</p>	<p>復) 感染症流行下の医師の行動について考える 復) 感染症が政治に与えた影響について考える</p>
<p>5/11 水 2限</p>	<p>澤井 直</p>	<p>【授業タイトル】 歴史：感染症の歴史(5) 【サブ・タイトル】 黒死病 【キーワード】 黒死病、ペスト 【到達目標】 黒死病がヨーロッパ文化に与えた影響について説明できる</p> <p>【授業タイトル】 歴史：感染症の歴史(6) 【サブ・タイトル】 スペイン風邪 【キーワード】 第一次世界大戦、スペイン風邪 【到達目標】 スペイン風邪がどのように記憶されたかを説明できる</p>	<p>講義</p>	<p>復) パンデミックによる人口減少の影響について考える</p>
<p>5/18 水 2限</p>	<p>澤井 直</p>	<p>【授業タイトル】 歴史：感染症の歴史(7) 【サブ・タイトル】 天然痘 【キーワード】 天然痘、牛痘種痘 【到達目標】 天然痘の被害の歴史と撲滅の過程を説明できる</p> <p>【授業タイトル】 歴史：感染症の歴史(8) 【サブ・タイトル】 21世紀の感染症 【キーワード】 新型インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症 【到達目標】 21世紀に流行した感染症について説明できる</p>	<p>講義</p>	<p>復) 感染症撲滅の意義について考える 復) 現代におけるパンデミックがもたらす変化について考える</p>
<p>5/25 水 2限</p>	<p>澤井 直</p>	<p>【授業タイトル】 科学哲学：境界(1) 【サブ・タイトル】 科学と疑似科学の境界 【キーワード】 境界設定、反証可能性 【到達目標】 反証可能性について説明できる</p> <p>【授業タイトル】 科学哲学：境界(2) 【サブ・タイトル】 代替医療 【キーワード】 通常医療、代替医療 【到達目標】 通常医療と代替医療の違いについて説明できる</p>	<p>講義</p>	<p>復) 疑似科学が社会に与える影響について考える 復) 代替医療が存在する理由について考える</p>

6/1 水 2限	澤井 直	<p>【授業タイトル】科学哲学：境界(3) 【サブ・タイトル】正常と病理 【キーワード】健康、病因に関する存在論と全体論 【到達目標】病因に関する存在論と全体論について説明できる</p> <p>【授業タイトル】科学哲学：境界(4) 【サブ・タイトル】正常と異常 【キーワード】精神疾患、患者対応の歴史 【到達目標】精神疾患患者対応の歴史について説明できる</p>	講義	<p>復) 正常と病理の違いについて考える 復) 正常と異常の違いについて考える</p>
6/15 水 2限	澤井 直	<p>【授業タイトル】科学哲学：方法(1) 【サブ・タイトル】帰納、仮説、仮説演繹法 【キーワード】帰納、仮説、仮説演繹法 【到達目標】帰納、仮説、仮説演繹法を説明できる</p> <p>【授業タイトル】科学哲学：方法(2) 【サブ・タイトル】ゼンメルワイスの産褥熱研究 【キーワード】仮説演繹法、ゼンメルワイス 【到達目標】ゼンメルワイスの用いた方法について説明できる</p>	講義	<p>復) 実験で用いられる推論方法について考える 復) 消毒法の発見と普及について調べる</p>
6/18 土 2限	澤井 直	<p>【授業タイトル】科学哲学：理論の変遷(1) 【サブ・タイトル】血液循環論の変遷 【キーワード】ガレノス、ハーヴィ、マルピーギ 【到達目標】血液循環が発見された過程を説明できる</p> <p>【授業タイトル】科学哲学：理論の変遷(2) 【サブ・タイトル】パラダイム論 【キーワード】科学革命、通常科学 【到達目標】「パラダイム」「通常科学」「科学革命」について説明できる</p>	講義	<p>予) 現代生理学における血液運動の理解を調べる 復) 新聞・雑誌・書籍における「パラダイム」の使用例を探す</p>
6/22 水 2限	澤井 直	<p>【授業タイトル】文学：患者の心理描写(1) 【サブ・タイトル】感染症に罹患したら 【キーワード】スペイン風邪、『流行感冒』 【到達目標】日本におけるスペイン風邪の影響を説明できる</p> <p>【授業タイトル】文学：患者の心理描写(2) 【サブ・タイトル】がんの告知 【キーワード】がん告知、『われはうたえども やぶれかぶれ』、『行列の先にある人』 【到達目標】一昔前のがん告知に関する患者心理を理解する</p>	講義	<p>復) 感染症を題材にした文芸作品を読む 復) がん告知を題材にした文芸作品を読む</p>

6/29 水 2限	澤井 直	<p>【授業タイトル】映画：社会の中のハンセン病(1)  【サブ・タイトル】昭和期のハンセン病  【キーワード】「砂の器」、無癩県運動、らい予防法  【到達目標】ハンセン病患者の歴史を理解する</p>	講義	復) 映画あるいは小説「砂の器」を見る・読む
7/6 水 2限	澤井 直	<p>【授業タイトル】映画：社会の中のハンセン病(2)  【サブ・タイトル】平成期のハンセン病  【キーワード】「あん」、ハンセン病療養所、ハンセン病療養所らい  予防法廃止  【到達目標】ハンセン病患者の歴史を理解する</p>	講義	復) 映画あるいは小説「あん」を見る・読む
7/13 水 2限	澤井 直	<p>【授業タイトル】メディア：漫画が伝えるもの(1)  【サブ・タイトル】病を描く漫画  【キーワード】医療漫画  【到達目標】医療漫画の変遷について説明できる</p> <p>【授業タイトル】メディア：漫画が伝えるもの(2)  【サブ・タイトル】医療における漫画  【キーワード】グラフィック・メディスン  【到達目標】グラフィック・メディスンについて説明できる</p>	講義	復) 医療漫画を読み、どのような視点で描かれているかを考える 復) 医療現場で漫画が活用できる可能性について考える

<p>7/20 水 2限</p>	<p>澤井 直</p>	<p>【授業タイトル】まとめ：メディカル・ヒューマニティーズとは  【サブ・タイトル】メディカル・ヒューマニティーズ概括  【キーワード】ヒューマニティーズ、人文主義  【到達目標】「メディカル・ヒューマニティーズ」が目指すものを理解する</p>	<p>講義</p>	<p>復)「メディカル・ヒューマニズム」を継続的に自己学習する方法を考える</p>










--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	生きる意志	授業形態	講義
英語科目名	The Will to Live	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	長沼 淳	ナンバリング	
担当教員	長沼 淳、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>われわれが社会生活を他者とともに営むということは、どのようなことなのか。われわれが行う判断の妥当性、根拠、背景を考察、検討することによって、「私」のみを判断主体と設定する「自己決定-自己責任」論の危うさ、脆さを検討する。さらに「他人に迷惑をかけるなければ何をやってもよい」とか「自分のことは自分で決める」という言説の持つ曖昧さ、危険性を、現実には発生している具体的な問題を例として取り上げ自己決定の内実を検証していきたい。それと同時に、当たり前のことに対して「なぜ？」と問うことの意味、「社会的存在」としての「私」と「絶対的な存在」としての「私」の違いと、いわゆる「倫理的な問題」の関係を検討していく。</p> <p>こうした検討をふまえて、インフォームド・コンセントに代表される「患者主体の医療」や「患者の自己決定権」という言説が持つ意味、医療者の立ち位置、とその意味と課題を「生殖医療」や「終末期医療」といった具体的事例に基づき検討していく。これらの検討から、倫理的に考えることの意味を明らかにすることを目的とする。</p>		
到達目標	<p>[一般目標] 倫理学の基本概念の習得と医学・医療における倫理の位置づけの理解を目的とする。その上で、具体的な医療上の課題を取り上げつつ、そこで倫理が求められる理由、果たしうる役割などについて基本的な理解の獲得を目指す。</p> <p>[到達目標] 1. 倫理的に生きるとはどういうことかについての基本的な見通しを立てることができる。 2. 個人の尊重と倫理の関係について理解することができる。 3. 規範を守ることの本質について理解することができる。 4. 善悪と個人の価値観の関係について理解することができる。</p>		
授業の位置づけ	-----		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-----		



履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件]          他者の意思を尊重することと他者に関して無頓着でいることとは異なるものである。人が他人と共に生きるとはどういうことなのか、相異なる価値観同士の衝突、齟齬はどうやって乗り越えられるべきなのか。「絶対的な判断基準などない」ということと「何をやってもよい」ということの違いから、「正しく生きる」、「よく生きる」という言葉が意味するところを考えたい。          同時に、人と関わることなしにはありえない医療における、他者との関わり方を検討し、「生命倫理」、「医療倫理」が目指すところを、解明していく。そのため、普段より適切な自己決定とは何か、他人の自己決定に自分は如何に関わりうるかということ意識してほしい。</p> <p>[履修上の注意]          遅刻、早退は3回で1回分の欠席として取り扱う。          [課題等へのフィードバックの方法]          課題レポートについては翌週の授業以降で総合的な評価を行い、希望者には個別に対応する。</p> <p>[テキスト・参考書]          ・テキストは使用しない。          ・参考書は授業内で適宜紹介する。</p>
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	<p>[成績評価の基準]          1. 医学医療、生命科学、環境学などの問題について、その概略を理解している。(定期試験)          2. その上で自らの見解を説得的に述べるができる。(定期試験)          3. 生き方の自己決定がはらむ他者との関係性構築の困難さを理解している。(レポート)          4. 授業中の発言や毎授業で行う小レポートの取り組み状況によって受講態度を評価する。(平常点)</p> <p>[成績評価の方法]          定期試験(80%)、課題レポート1回(10%)、平常点(10%)を総合して評価する。</p>
------	---

評価基準	<p>1. 医学医療、生命科学、環境学などの問題について、その概略を理解している。(定期試験)          2. その上で自らの見解を説得的に述べるができる。(定期試験)          3. 生き方の自己決定がはらむ他者との関係性構築の困難さを理解している(レポート)          4. 授業中の発言や毎授業で行う小レポートの取り組み状況によって受講態度を評価する。(平常点)</p>
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

課題(小テストやレポート等)に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。  
 また、授業テーマを設定する際にも学生との対話に基づき、課題やレポートに対するフィードバックを総合的に行う。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

教科書は用いない。参考書などは授業内において適宜指示する。

その他	
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先]            担当：長沼淳            E-mail：atnaganu[at]juntendo.ac.jp            ※[at]を@に変更してください。</p>
担当教員の実務経験	
備考	<p>現在医療において倫理は不可欠の要素となっているが、それは研究を遅らせたりすることを役割としているわけではない。社会内存在としての医学・医療の妥当性を確保し、その可能性を十分に追求するための環境を整える装置として理解されていると考えるべきである。個別の医療トピックを考える際にも、それがどのように社会的な了解を得て実現しているのか、その配慮に対する洞察が求められていると考えてほしい。倫理問題への手がかりは講義内に存在しているのではなく、日常生活上、報道やドキュメンタリーにおいて、などなど多様なところに存在しているものである。そういうきっかけを見逃さないような注意深さも期待したい。</p> <p>[学修時間]            この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、講義時間を越えた学修を含んでの構成となっている。そのため、学修の時間は1時間あたり 予習：45分、 復習：45分を目途に理解してほしい。</p> <p>[実務経験のある教員による授業]            担当の長沼は医学部倫理委員を20年以上務めており、また保健看護学部、医療看護学部でも倫理委員を務めているため、そこで得られた経験も織り交せて講義を行う。</p> <p>[その他]            新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 木 4限	長沼 淳	<p>【授業タイトル】オリエンテーション</p> <p>【授業タイトル】倫理学とは            【サブ・タイトル】倫理学の歴史            【キーワード】アリストテレス、ベンサム、サルトル            【到達目標】原理原則の理解</p>	講義	
4/21 木 4限	長沼 淳	<p>【授業タイトル】医療倫理の起源            【サブ・タイトル】ヒポクラテスの誓い、医は仁術            【キーワード】ヒポクラテス、貝原益軒            【到達目標】専門家と一般人の役割について理解する</p> <p>【授業タイトル】医療倫理の変容            【サブ・タイトル】ニュルンベルク綱領、ヘルシンキ宣言            【キーワード】人体実験と医療技術の進歩            【到達目標】医学の発達と患者の権利の相関性を理解する</p>	講義	<p>【注意点】            患者の立場と医師の立場            パターナリズムの限界</p> <p>パターナリズムの有用性について考える            インフォームド・コンセントはなぜ必要なのかを考える</p>

<p>4/28 木 4限</p>	<p>長沼 淳</p>	<p>【授業タイトル】医療倫理と生命倫理 【サブ・タイトル】タスキギー研究とベルモントレポート 【キーワード】社会的弱者と医療 【到達目標】医学研究倫理の一つの到達点を理解する</p> <p>【授業タイトル】医療倫理と生命倫理 【サブ・タイトル】情報・理解・任意性 【キーワード】自律した個人 【到達目標】理性的な人間と医療の関係を理解する</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 研究の倫理と臨床の倫理の違いを考える 自律の意味を考える</p>	<p>患者の主体性とは何かを考える</p>
<p>5/12 木 4限</p>	<p>長沼 淳</p>	<p>【授業タイトル】自己決定権の歴史 【サブ・タイトル】自分のことを自分が決める 【キーワード】デカルト、カント、ミル 【到達目標】自己決定権をとりあえず理解する</p> <p>【授業タイトル】自己決定権の理解(1) 【サブ・タイトル】判断能力のある大人とは誰のことか 【キーワード】判断能力の有無 【到達目標】自己決定の主体を理解する</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 視点の取り方に注意深く 自分はしっかりした大人か</p>	<p>「自分のこと」とは何か 自分には判断能力が十分に備わっているのか 考える</p>
<p>5/19 木 4限</p>	<p>長沼 淳</p>	<p>【授業タイトル】自己決定権の理解(2) 【サブ・タイトル】私のものとは何か 【キーワード】所有の共同性 【到達目標】自己決定の対象を理解する</p> <p>【授業タイトル】自己決定権の理解(3) 【サブ・タイトル】他者危害の原則 【キーワード】独立した個人 【到達目標】私は多くの人に囲まれて生きていることを理解する</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 私のものだから私の好きにしている？ 誰にも迷惑をかけていない？</p>	<p>私の身体は私のものか考える 他人に迷惑をかけない生き方を考える</p>
<p>5/26 木 4限</p>	<p>長沼 淳</p>	<p>【授業タイトル】自己決定と他者決定(1) 【サブ・タイトル】私らしく生きるために 【キーワード】愚行権 【到達目標】自己決定権の意義を理解する</p> <p>【授業タイトル】自己決定と他者決定(2) 【サブ・タイトル】他人がその人らしく生きるために 【キーワード】他者の愚行権 【到達目標】自己決定の限界を理解する</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 自己決定と他人のアドバイス アドバイスとおせっかい</p>	<p>私の幸せは私が決める？ 他人の幸せはその人が決める？</p>

6/2 木 4限	長沼 淳	<p>【授業タイトル】義務と権利(1) 【サブ・タイトル】リパタリアニズム 【キーワード】自由と公共性 【到達目標】人間の価値が平等だといわれる理由を理解する</p> <p>【授業タイトル】義務と権利(2) 【サブ・タイトル】コミュニタリアニズム 【キーワード】公共性と人間の尊厳 【到達目標】同上</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 視野を広くしよう</p>	<p>人間は生まれながらに皆平等だろうか 今の私はどのようにしてできあがっているのか</p>
6/9 木 4限	長沼 淳	<p>【授業タイトル】映像資料を使って考える 【サブ・タイトル】生きる義務と死ぬ権利 【キーワード】選ばれた生命 【到達目標】悩みは尽きないことの理解</p>	<p>ビデオ視聴</p> <p>【注意点】 善意が重荷になる</p>	<p>親は子どもを愛し、子どもはそれに応える？</p>
6/16 木 4限	長沼 淳	<p>【授業タイトル】医療の倫理(1) 【サブ・タイトル】補助生殖医療 【キーワード】正常と異常 【到達目標】普通とは実在するのかについて自分なりの見解が述べられる</p> <p>【授業タイトル】医療の倫理(2) 【サブ・タイトル】デザイナーベビーと救世主兄弟 【キーワード】姉は幸せだったのか 【到達目標】普通に生きることが問題となることの理解</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 自分は普通だろうか 普通の人とは誰のことか</p>	<p>異常は正さなければならないのか ビデオの捉えなおし</p>
6/23 木 4限	長沼 淳	<p>【授業タイトル】医療の倫理(3) 【サブ・タイトル】先端医療 【キーワード】健康と病気 【到達目標】健康とは何なのかについて考え続けることができる</p> <p>【授業タイトル】医療の倫理(4) 【サブ・タイトル】前半を振り返る 【キーワード】総括 【到達目標】これまでの総括</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 病気は悪だろうか 総括</p>	<p>健康は義務なのか 総括</p>

<p>6/30 木 4限</p>	<p>長沼 淳</p>	<p>【授業タイトル】環境倫理について(1) 【サブ・タイトル】環境問題とは 【キーワード】環境倫理の起源 【到達目標】エコロジーの理解</p> <p>【授業タイトル】環境倫理について(2) 【サブ・タイトル】環境はなぜ問題になるのか 【キーワード】環境倫理の展開 【到達目標】エコな生活の理解</p>	<p>講義・情報共有</p> <p>【注意点】 エコロジーの理解 エコな生活の理解</p>	<p>環境問題はリサイクルで解決するのか 地球にやさしい生活を考える</p>
<p>7/7 木 4限</p>	<p>長沼 淳</p>	<p>【授業タイトル】環境倫理の課題(1) 【サブ・タイトル】環境倫理が困難な理由 【キーワード】世代間倫理と南北問題 【到達目標】地球に優しくないのは誰かの理解</p> <p>【授業タイトル】環境倫理の課題(2) 【サブ・タイトル】豊かさの追求 【キーワード】持続可能な社会 【到達目標】環境保護の目的の理解</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 地球に優しくないのは誰かの理解 環境保護の目的の理解</p>	<p>現在と未来のどちらを優先するべきなのか 地球環境を保護することで何を守ろうとしているのか</p>
<p>7/14 木 4限</p>	<p>長沼 淳</p>	<p>【授業タイトル】環境倫理の課題(3) 【サブ・タイトル】環境保護が目指すもの 【キーワード】持続的成長と環境 【到達目標】課題の分節化と再構築、医療の倫理と構造が類似していることの</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 リサイクル 豊かさ</p>	<p>何のための環境保護か</p>

7/21 木 4限	長沼 淳	【授業タイトル】まとめ 【サブ・タイトル】生命、医療、環境の倫理は終わらない 【キーワード】私と他者 【到達目標】考え続ける意識を持ち続けること	講義	総括としてのレポート作成の準備を行う










--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）